

シラバス

科目名		ホスピタリティサービス		担 当 者 名		相川 奏恵	
学 科		エアラインサービス科フライトアテンダントコース		授 業 方 法		講 義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	必 選		授 業 時 間 数	36時間
授業目的		感じの良いコミュニケーション力と人間力を身につける。ホスピタリティマインドを醸成し、質の高いサービスを提供できる知識とスキルを身につける					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		対人関係において必要なマナーを身につけ、良好な人間関係を築く力を身につける。ホスピタリティマインドを身につけ社会で顧客と喜びを分かち合い、やりがいあるキャリア形成を目指す力を構築する。					
授業概要		自他の理解を深め、望ましい表現力と傾聴力を養い適切なコミュニケーション力を身につける。様々な業界のホスピタリティや顧客心理を研究を通して視野を広げ、やりがいあるキャリア形成を目指す。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	オリエンテーション・マナーの基本		19	物の受け渡し		
	2	人間力とマナー・メラビアン法の法則		20	立ち居振る舞い(案内)		
	3	望ましい社会人(プロフェッショナルの姿)を考える		21	立ち居振る舞い(案内)		
	4	目標について考える 発表		22	TDLのホスピタリティ①		
	5	自分の表情・態度を見つめる		23	TDLのホスピタリティ②		
	6	望ましい話し方(声の出し方・活舌・スピード)		24	思いやりを伝える言葉遣い		
	7	挨拶の言葉を考える(明るい挨拶・爽やかな挨拶)		25	様々な産業のホスピタリティ①		
	8	表情・態度を見直す(動画チェック)		26	様々な産業のホスピタリティ②		
	9	表現力を身につける(気持ちを表現する力)		27	様々な産業のホスピタリティ③		
	10	敬語①		28	様々な産業のホスピタリティ④		
	11	敬語②		29	様々な産業のホスピタリティ⑤		
	12	敬語③		30	利休七則と江戸しぐさ		
	13	敬語でインタビュー 他己紹介		31	自己肯定感を高める		
	14	自己理解①		32	自己管理と自己啓発		
	15	自己理解②		33	パーソナルブランディング①		
	16	他者理解①		34	パーソナルブランディング②		
	17	他者理解②		35	目標管理①振り返りと次のステップ		
	18	自己表現・相互理解		36	目標管理②振り返りと次のステップ		
成績割合		テスト	80%	学習FB方法	個人ワーク・グループワーク発表評価とアドバイス、定期テスト解説		
		学習態度・出席率	20%				
		レポート		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50 R≪実働実践型学習≫20 A≪主体的参加型学習≫20 G≪海外体感型学習≫10					
講師プロフィール		エアーニッポン(株)にてキャビンアテンダント及び教育訓練教官業務(新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教育とマニュアル作成)を経て、現在は日本講師協会にて電話応対・課題解決・新入社員研修等を実施。実績は環境庁・東京都福祉保健局・八王子市役所・埼玉県産業振興公社・消費生活支援センター・日本旅行・りそな総研・みずほ不動産・SEGA・三菱ビルテクノサービス等					

シラバス

科目名		アマデウス実習 I		担 当 者 名		小泉 公仁子	
学 科		エアラインサービス科フライトアテンダントコース		授業方法		実習	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選		授 業 時 間 数	72時間
授業目的		世界中の多くの旅行会社、航空会社で利用されている総合予約システム「アマデウス」操作の習得。航空、旅行業界で実際に活用できる「技能」の習得と共に国際線予約業務に必要な「基礎知識」を身につける。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国際線予約の操作、基礎知識を学び「アマデウス システム検定 (SPECIALIST)」合格を目指す。					
授業概要		「アマデウス」トレーニングモードを使つての実習が中心。テキスト、早見表を使って基本操作の学習後、練習問題によって各自が操作技能、知識を積み上げていく。就職活動を見据え、ニュースなどを取り上げて航空、旅行業界を取り巻く環境に目を向け、実社会とのつながりを意識させる。					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	導入 授業の目的・目標 基本操作 基礎知識		19	前期復習 エラーメッセージ キャンセル待ち ステータスコードの流れ		
	2	各種コード検索① 世界地図		20	フライトの変更・キャンセル PNR項目の修正		
	3	各種コード検索② 主要航空会社		21	ダイレクトアクセス アクセスレベル GGエントリー		
	4	日本地図 タイムテーブル コードシェア アライアンス		22	旅客氏名(小児・幼児) 入力・修正 SSRとは		
	5	空席照会(オプション・ショートカット)		23	SSR 各種メール HELPページ		
	6	フライトスケジュール		24	SSR 連絡先 CTCE CTCM		
	7	空席照会からの予約(ショートセル)		25	SSR フリークエントフライヤープログラム		
	8	ロングセル ステータスコードとは フライトのキャンセル		26	SSR シートリクエスト GGエントリー		
	9	PNRとは 旅客氏名(大人) 入力・修正		27	フライトインフォメーション(直行・経由便)		
	10	連絡先 発券状況 送信元 完了		28	PNR作成練習 基礎知識総復習		
	11	完了 中断 完了後のステータスコード PNRの取出し		29	検定対策①		
	12	PNR作成練習		30	検定対策②		
	13	乗継便の予約・変更 マリードセグメント		31	検定対策③		
	14	ARNK オープンセグメント		32	後期末試験対策		
	15	前期末試験対策		33	後期末試験		
	16	前期末試験		34	期末試験返却・解説 検定対策④		
	17	試験返却 解説		35	総まとめ		
	18	総まとめ		36	総まとめ		
成績割合		テスト		40%		学習FB方法	前期・後期試験実施後。試験返却をもって
		学習態度・出席率		30%			
		レポート		30%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫0 A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		(株)日本航空にて予約、発券業務 (株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師					

シラバス

科目名		接遇手話Ⅰ		担 当 者 名		小川 奈緒子	
学 科		エアラインサービス科フライトアテンダントコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	必 選		授 業 時 間 数	36時間
授業目的		①聴覚障がいについて理解する ②手話の基本を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		聴覚障がいの基礎知識を学び、理解する。簡単な自己紹介・会話の習得。NPO法人手話技能検定試験4級合格を目指す。					
授業概要		聴覚障がいの基礎知識・コミュニケーション手段などの座学。簡単な自己紹介・日常会話の実技。聴覚障がいゲスト講師との交流。					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	ガイダンス・導入		19	疑問詞のまとめ(疑問詞を使った文章表現)		
	2	伝える工夫(コミュニケーション方法・挨拶の手話)		20	時制(1日・1週間の生活)		
	3	手話の基本(指文字・挨拶・出来る/出来ない)		21	時制(四季・1年の生活)／都道府県名		
	4	手話の基本(指文字・名前・学校名・好き/嫌い)		22	都道府県名		
	5	手話の基本(数の表現・疑問詞の使い方)		23	聴覚障害と福祉制度／接遇手話の簡単な文の練習		
	6	自己紹介(住所・出身地・県名・国名含む)		24	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)／接遇手話の練習		
	7	自己紹介(人物・家族の表現)		25	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて		
	8	自己紹介(誕生日・数字・時の表現)		26	聴覚障がいの特性を理解する・先週の感想等の共有		
	9	自己紹介(趣味の表現)		27	後期の復習/小テスト		
	10	自己紹介(職業などの表現)		28	後期の復習／手話ソング(Xmasソング)		
	11	前期の復習(自己紹介の総復習・表出の小テスト)		29	時節の手話		
	12	前期の復習(自己紹介の総復習・読み取りの小テスト)		30	1年間の総復習		
	13	前期の復習		31	1年間の総復習		
	14	前期の復習		32	後期末試験(表出試験)		
	15	疑問詞(だれ・なぜ・どちら・いくつ)		33	後期末試験(読み取り／筆記試験)		
	16	前期末試験(表出試験)		34	試験の返却／解説(後期の振り返り)		
	17	前期末試験(読み取り／筆記試験)		35			
	18	試験の返却／解説(前期の振り返り)		36			
成績割合		テスト	50%	学習FB方法	使用教材「豊かなコミュニケーション」(NPO法人東京都中途失聴・難聴者協会発行)		
		学習態度・出席率	40%				
		レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫40% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		手話通訳士として講演会・会議・その他日常生活での手話通訳活動や手話指導経験を積んでいる。					

シラバス

科目名		国内地理・歴史Ⅰ		担 当 者 名		金田一 栄子	
学 科		エアラインサービス科フライトアテンダントコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	必 選		授 業 時 間 数	36時間
授業目的		地理的な視点から世の中のことを見ることができるようになる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国内の観光資源について基本的な知識を学ぶとともに、歴史、文化、風土についても関心を広げていく。					
授業概要		座学形式で各地の概要を学び、それに基づき各自が調べ学習をする。 調べた成果は発表し、全体で共有していく。プランニングも行う					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	授業の概要と地図の使い方		19	京都・大阪・神戸		
	2	47都道府県と県庁所在地		20	三都プランニング		
	3	地元自慢		21	三都プランニング		
	4	北海道		22	近畿1(奈良・三重・和歌山)		
	5	東北地方6県		23	近畿2(兵庫・滋賀)		
	6	北海道・東北地方研究		24	中国1(広島・岡山)		
	7	北関東(茨城・栃木・群馬)		25	中国2(鳥取・島根・山口)		
	8	南関東(千葉・埼玉・神奈川)		26	四国地方 4県		
	9	東京		27	瀬戸内海の島々		
	10	伊豆・箱根		28	九州1(福岡・長崎・佐賀)		
	11	関東地方プランニング		29	九州2(宮崎・大分・熊本・鹿児島)		
	12	関東地方プランニング		30	沖縄		
	13	中部1(山梨・新潟・)		31	九州・沖縄プランニング		
	14	中部2(長野・岐阜)		32	テーマ別研究		
	15	中部3(福井・石川・富山)		33	テーマ別研究		
	16	中部4(愛知・静岡)		34	テーマ別研究		
	17	中部地方プランニング		35	プレゼンテーション		
	18	確認テスト		36	確認テスト・まとめ		
成績割合		テスト	30%	学習FB方法		前期末・後期末 成績表を配布	
		学習態度・出席率	40%				
		レポート	30%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50 G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験後、旅行分野、観光英語等で長い指導歴を持ちます。2002年から観光英検問題作成委員。					

シラバス

科目名		ホスピタリティサービス		担当 者 名		相川 奏恵	
学 科		エアラインサービス科グランドスタップコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選		授 業 時 間 数	36時間
授業目的		感じの良いコミュニケーション力と人間力を身につける。ホスピタリティマインドを醸成し、質の高いサービスを提供できる知識とスキルを身につける					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		対人関係において必要なマナーを身につけ、良好な人間関係を築く力を身につける。ホスピタリティマインドを身につけ社会で顧客と喜びを分かち合い、やりがいあるキャリア形成を目指す力を構築する。					
授業概要		自他の理解を深め、望ましい表現力と傾聴力を養い適切なコミュニケーション力を身につける。様々な業界のホスピタリティや顧客心理を研究を通して視野を拡げ、やりがいあるキャリア形成を目指す。					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション・マナーの基本		19	物の受け渡し		
	2	人間力とマナー・メラビアン法の法則		20	立ち居振る舞い(案内)		
	3	望ましい社会人(プロフェッショナルの姿)を考える		21	立ち居振る舞い(案内)		
	4	目標について考える 発表		22	TDLのホスピタリティ①		
	5	自分の表情・態度を見つめる		23	TDLのホスピタリティ②		
	6	望ましい話し方(声の出し方・活舌・スピード)		24	思いやりを伝える言葉遣い		
	7	挨拶の言葉を考える(明るい挨拶・爽やかな挨拶)		25	様々な産業のホスピタリティ①		
	8	表情・態度を見直す(動画チェック)		26	様々な産業のホスピタリティ②		
	9	表現力を身につける(気持ちを表現する力)		27	様々な産業のホスピタリティ③		
	10	敬語①		28	様々な産業のホスピタリティ④		
	11	敬語②		29	様々な産業のホスピタリティ⑤		
	12	敬語③		30	利休七則と江戸しぐさ		
	13	敬語でインタビュー 他己紹介		31	自己肯定感を高める		
	14	自己理解①		32	自己管理と自己啓発		
	15	自己理解②		33	パーソナルブランディング①		
	16	他者理解①		34	パーソナルブランディング②		
	17	他者理解②		35	目標管理①振り返りと次のステップ		
	18	自己表現・相互理解		36	目標管理②振り返りと次のステップ		
成績割合		テスト	80%	学習FB方法	個人ワーク・グループワーク発表評価とアドバイス、定期テスト解説		
		学習態度・出席率	20%				
		レポート		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50 R≪実働実践型学習≫20 A≪主体的参加型学習≫20 G≪海外体感型学習≫10					
講師プロフィール		エアーニッポン(株)にてキャビンアテンダント及び教育訓練教官業務(新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教育とマニュアル作成)を経て、現在は日本講師協会にて電話応対・課題解決・新入社員研修等を実施。実績は環境庁・東京都福祉保健局・八王子市役所・埼玉県産業振興公社・消費生活支援センター・日本旅行・りそな総研・みずほ不動産・SEGA・三菱ビルテクノサービス等					

シラバス

科目名		アマデウス実習 I		担 当 者 名		小泉 公仁子	
学 科		エアラインサービス科グランドス タッフコース		授業方法		実習	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選		授 業 時 間 数	72時間
授業目的		世界中の多くの旅行会社、航空会社で利用されている総合予約システム「アマデウス」操作の習得。航空、旅行業界で実際に活用できる「技能」の習得と共に国際線予約業務に必要な「基礎知識」を身につける。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国際線予約の操作、基礎知識を学び「アマデウス システム検定 (SPECIALIST)」合格を目指す。					
授業概要		「アマデウス」トレーニングモードを使つての実習が中心。テキスト、早見表を使って基本操作の学習後、練習問題によって各自が操作技能、知識を積み上げていく。就職活動を見据え、ニュースなどを取り上げて航空、旅行業界を取り巻く環境に目を向け、実社会とのつながりを意識させる。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	導入 授業の目的・目標 基本操作 基礎知識		19	前期復習 エラーメッセージ キャンセル待ち ステータスコードの流れ		
	2	各種コード検索① 世界地図		20	フライトの変更・キャンセル PNR項目の修正		
	3	各種コード検索② 主要航空会社		21	ダイレクトアクセス アクセスレベル GGエントリー		
	4	日本地図 タイムテーブル コードシェア アライアンス		22	旅客氏名(小児・幼児) 入力・修正 SSRとは		
	5	空席照会(オプション・ショートカット)		23	SSR 各種ミール HELPページ		
	6	フライトスケジュール		24	SSR 連絡先 CTCE CTCM		
	7	空席照会からの予約(ショートセル)		25	SSR フリークエントフライヤープログラム		
	8	ロングセル ステータスコードとは フライトのキャンセル		26	SSR シートリクエスト GGエントリー		
	9	PNRとは 旅客氏名(大人) 入力・修正		27	フライトインフォメーション(直行・経由便)		
	10	連絡先 発券状況 送信元 完了		28	PNR作成練習 基礎知識総復習		
	11	完了 中断 完了後のステータスコード PNRの取出し		29	検定対策①		
	12	PNR作成練習		30	検定対策②		
	13	乗継便の予約・変更 マリードセグメント		31	検定対策③		
	14	ARNK オープンセグメント		32	後期末試験対策		
	15	前期末試験対策		33	後期末試験		
	16	前期末試験		34	期末試験返却・解説 検定対策④		
	17	試験返却 解説		35	総まとめ		
	18	総まとめ		36	総まとめ		
成績割合		テスト	40%	学習FB方法	前期・後期試験実施後。試験返却をもって		
		学習態度・出席率	30%				
		レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫0 A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		(株)日本航空にて予約、発券業務 (株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師					

シラバス

科目名		国内地理・歴史Ⅰ		担 当 者 名		金田一 栄子	
学 科		エアラインサービス科グランドスタップコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	必 選		授 業 時 間 数	36時間
授業目的		地理的な視点から世の中のことを見ることができるようになる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国内の観光資源について基本的な知識を学ぶとともに、歴史、文化、風土についても関心を広げていく。					
授業概要		座学形式で各地の概要を学び、それに基づき各自が調べ学習をする。 調べた成果は発表し、全体で共有していく。プランニングも行う					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	授業の概要と地図の使い方		19	京都・大阪・神戸		
	2	47都道府県と県庁所在地		20	三都プランニング		
	3	地元自慢		21	三都プランニング		
	4	北海道		22	近畿1(奈良・三重・和歌山)		
	5	東北地方6県		23	近畿2(兵庫・滋賀)		
	6	北海道・東北地方研究		24	中国1(広島・岡山)		
	7	北関東(茨城・栃木・群馬)		25	中国2(鳥取・島根・山口)		
	8	南関東(千葉・埼玉・神奈川)		26	四国地方 4県		
	9	東京		27	瀬戸内海の島々		
	10	伊豆・箱根		28	九州1(福岡・長崎・佐賀)		
	11	関東地方プランニング		29	九州2(宮崎・大分・熊本・鹿児島)		
	12	関東地方プランニング		30	沖縄		
	13	中部1(山梨・新潟・)		31	九州・沖縄プランニング		
	14	中部2(長野・岐阜)		32	テーマ別研究		
	15	中部3(福井・石川・富山)		33	テーマ別研究		
	16	中部4(愛知・静岡)		34	テーマ別研究		
	17	中部地方プランニング		35	プレゼンテーション		
	18	確認テスト		36	確認テスト・まとめ		
成績割合		テスト		30%	学習FB方法	前期末・後期末 成績表を配布	
		学習態度・出席率		40%			
		レポート		30%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験後、旅行分野、観光英語等で長い指導歴を持ちます。2002年から観光英検問題作成委員。					

シラバス

科目名		ITリテラシー I		担 当 者 名		千葉 輝子	
学 科		エアラインサービス科グランドスタッフコース		授 業 方 法		講 義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	必 選		授 業 時 間 数	36時間
授業目的		トラブルに巻き込まれない、トラブルを起こさない人材の育成					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		ITリテラシーを身に付け、情報の取捨選択ができるようになる					
授業概要		情報リテラシー 情報を正しく使うための能力 ネットワークリテラシー ネットワークやセキュリティに関する知識 コンピュータリテラシー パソコンやスマホなどのツールを使いこなす能力 を身に付ける					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	ガイダンス		19	ネット社会に潜む危険と対策		
	2	ガイダンス		20	ネット社会に潜む危険と対策		
	3	ガイダンス		21	メールによるコミュニケーション		
	4	ガイダンス自己紹介・自分のパソコンを調べよう		22	メールによるコミュニケーション		
	5	SNSのトラブル事例を調べよう		23	Webによるコミュニケーション		
	6	CPUの種類、周辺機器を調べよう		24	Webによるコミュニケーション		
	7	コンピュータシステム		25	モバイル機器の活用と管理		
	8	コンピュータシステム		26	モバイル機器の活用と管理		
	9	コンピュータシステム		27	ネットワークの仕組み		
	10	コンピュータシステム		28	ネットワークの仕組み		
	11	情報化社会のモラルとセキュリティ		29	Webページを作成してみよう		
	12	情報化社会のモラルとセキュリティ		30	Webページを作成してみよう		
	13	個人情報の適切な取り扱い		31	Webページを作成してみよう		
	14	個人情報の適切な取り扱い		32	学年末試験		
	15	デジタル時代の著作権		33	学年末試験の解答解説		
	16	デジタル時代の著作権		34	ガイダンス		
	17	前期期末試験		35	ガイダンス		
	18	前期期末試験の解答解説		36	ガイダンス		
成績割合		テスト	70%	学習FB方法			
		学習態度・出席率	30%				
		レポート		成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の入出庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。					

シラバス

科目名		ホスピタリティサービス		担 当 者 名		相川 奏恵	
学 科		エアラインサービス科グランドハンドリングコース		授 業 方 法		講 義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	必 選		授 業 時 間 数	36時間
授業目的		感じの良いコミュニケーション力と人間力を身につける。ホスピタリティマインドを醸成し、質の高いサービスを提供できる知識とスキルを身につける					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		対人関係において必要なマナーを身につけ、良好な人間関係を築く力を身につける。ホスピタリティマインドを身につけ社会で顧客と喜びを分かち合い、やりがいあるキャリア形成を目指す力を構築する。					
授業概要		自他の理解を深め、望ましい表現力と傾聴力を養い適切なコミュニケーション力を身につける。様々な業界のホスピタリティや顧客心理を研究を通して視野を広げ、やりがいあるキャリア形成を目指す。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	オリエンテーション・マナーの基本		19	物の受け渡し		
	2	人間力とマナー・メラビアン法の法則		20	立ち居振る舞い(案内)		
	3	望ましい社会人(プロフェッショナルの姿)を考える		21	立ち居振る舞い(案内)		
	4	目標について考える 発表		22	TDLのホスピタリティ①		
	5	自分の表情・態度を見つめる		23	TDLのホスピタリティ②		
	6	望ましい話し方(声の出し方・活舌・スピード)		24	思いやりを伝える言葉遣い		
	7	挨拶の言葉を考える(明るい挨拶・爽やかな挨拶)		25	様々な産業のホスピタリティ①		
	8	表情・態度を見直す(動画チェック)		26	様々な産業のホスピタリティ②		
	9	表現力を身につける(気持ちを表現する力)		27	様々な産業のホスピタリティ③		
	10	敬語①		28	様々な産業のホスピタリティ④		
	11	敬語②		29	様々な産業のホスピタリティ⑤		
	12	敬語③		30	利休七則と江戸しぐさ		
	13	敬語でインタビュー 他己紹介		31	自己肯定感を高める		
	14	自己理解①		32	自己管理と自己啓発		
	15	自己理解②		33	パーソナルブランディング①		
	16	他者理解①		34	パーソナルブランディング②		
	17	他者理解②		35	目標管理①振り返りと次のステップ		
	18	自己表現・相互理解		36	目標管理②振り返りと次のステップ		
成績割合		テスト	80%	学習FB方法	個人ワーク・グループワーク発表評価とアドバイス、定期テスト解説		
		学習態度・出席率	20%				
		レポート		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50 R≪実働実践型学習≫20 A≪主体的参加型学習≫20 G≪海外体感型学習≫10					
講師プロフィール		エアーニッポン(株)にてキャビンアテンダント及び教育訓練教官業務(新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教育とマニュアル作成)を経て、現在は日本講師協会にて電話応対・課題解決・新入社員研修等を実施。実績は環境庁・東京都福祉保健局・八王子市役所・埼玉県産業振興公社・消費生活支援センター・日本旅行・りそな総研・みずほ不動産・SEGA・三菱ビルテクノサービス等					

シラバス

科目名		アマデウス実習 I		担 当 者 名		小泉 公仁子	
学 科		エアラインサービス科グランドハンドリングコース		授業方法		実習	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選		授 業 時 間 数	72時間
授業目的		世界中の多くの旅行会社、航空会社で利用されている総合予約システム「アマデウス」操作の習得。航空、旅行業界で実際に活用できる「技能」の習得と共に国際線予約業務に必要な「基礎知識」を身につける。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国際線予約の操作、基礎知識を学び「アマデウス システム検定 (SPECIALIST)」合格を目指す。					
授業概要		「アマデウス」トレーニングモードを使つての実習が中心。テキスト、早見表を使って基本操作の学習後、練習問題によって各自が操作技能、知識を積み上げていく。就職活動を見据え、ニュースなどを取り上げて航空、旅行業界を取り巻く環境に目を向け、実社会とのつながりを意識させる。					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	導入 授業の目的・目標 基本操作 基礎知識		19	前期復習 エラーメッセージ キャンセル待ち ステータスコードの流れ		
	2	各種コード検索① 世界地図		20	フライトの変更・キャンセル PNR項目の修正		
	3	各種コード検索② 主要航空会社		21	ダイレクトアクセス アクセスレベル GGエントリー		
	4	日本地図 タイムテーブル コードシェア アライアンス		22	旅客氏名(小児・幼児) 入力・修正 SSRとは		
	5	空席照会(オプション・ショートカット)		23	SSR 各種メール HELPページ		
	6	フライトスケジュール		24	SSR 連絡先 CTCE CTCM		
	7	空席照会からの予約(ショートセル)		25	SSR フリーイベントフライヤープログラム		
	8	ロングセル ステータスコードとは フライトのキャンセル		26	SSR シートリクエスト GGエントリー		
	9	PNRとは 旅客氏名(大人) 入力・修正		27	フライトインフォメーション(直行・経由便)		
	10	連絡先 発券状況 送信元 完了		28	PNR作成練習 基礎知識総復習		
	11	完了 中断 完了後のステータスコード PNRの取出し		29	検定対策①		
	12	PNR作成練習		30	検定対策②		
	13	乗継便の予約・変更 マリードセグメント		31	検定対策③		
	14	ARNK オープンセグメント		32	後期末試験対策		
	15	前期末試験対策		33	後期末試験		
	16	前期末試験		34	期末試験返却・解説 検定対策④		
	17	試験返却 解説		35	総まとめ		
	18	総まとめ		36	総まとめ		
成績割合		テスト		40%		学習FB方法	前期・後期末試験実施後。試験返却をもって
		学習態度・出席率		30%			
		レポート		30%		成績評価	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫0 A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体験型学習≫10%					
講師プロフィール		(株)日本航空にて予約、発券業務 (株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師					

シラバス

科目名		接遇手話Ⅰ		担 当 者 名		小川 奈緒子	
学 科		エアラインサービス科グランドハンドリングコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	必 選		授 業 時 間 数	36時間
授業目的		①聴覚障がいについて理解する ②手話の基本を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		聴覚障がいの基礎知識を学び、理解する。簡単な自己紹介・会話の習得。NPO法人手話技能検定試験4級合格を目指す。					
授業概要		聴覚障がいの基礎知識・コミュニケーション手段などの座学。簡単な自己紹介・日常会話の実技。聴覚障がいゲスト講師との交流。					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	ガイダンス・導入		19	疑問詞のまとめ(疑問詞を使った文章表現)		
	2	伝える工夫(コミュニケーション方法・挨拶の手話)		20	時制(1日・1週間の生活)		
	3	手話の基本(指文字・挨拶・出来る/出来ない)		21	時制(四季・1年の生活)／都道府県名		
	4	手話の基本(指文字・名前・学校名・好き/嫌い)		22	都道府県名		
	5	手話の基本(数の表現・疑問詞の使い方)		23	聴覚障害と福祉制度／接遇手話の簡単な文の練習		
	6	自己紹介(住所・出身地・県名・国名含む)		24	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)／接遇手話の練習		
	7	自己紹介(人物・家族の表現)		25	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて		
	8	自己紹介(誕生日・数字・時の表現)		26	聴覚障がいの特性を理解する・先週の感想等の共有		
	9	自己紹介(趣味の表現)		27	後期の復習/小テスト		
	10	自己紹介(職業などの表現)		28	後期の復習／手話ソング(Xmasソング)		
	11	前期の復習(自己紹介の総復習・表出の小テスト)		29	時節の手話		
	12	前期の復習(自己紹介の総復習・読み取りの小テスト)		30	1年間の総復習		
	13	前期の復習		31	1年間の総復習		
	14	前期の復習		32	後期末試験(表出試験)		
	15	疑問詞(だれ・なぜ・どちら・いくつ)		33	後期末試験(読み取り／筆記試験)		
	16	前期末試験(表出試験)		34	試験の返却／解説(後期の振り返り)		
	17	前期末試験(読み取り／筆記試験)		35			
	18	試験の返却／解説(前期の振り返り)		36			
成績割合		テスト	50%	学習FB方法	使用教材「豊かなコミュニケーション」(NPO法人東京都中途失聴・難聴者協会発行)		
		学習態度・出席率	40%				
		レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点、A80～89点、B70～79点、 C60～69点、D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫40% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		手話通訳士として講演会・会議・その他日常生活での手話通訳活動や手話指導経験を積んでいる。					

シラバス

科目名		国内地理・歴史Ⅰ		担 当 者 名		金田一 栄子	
学 科		エアラインサービス科グランドハンドリングコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	必 選		授 業 時 間 数	36時間
授業目的		地理的な視点から世の中のことを見ることができるようになる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国内の観光資源について基本的な知識を学ぶとともに、歴史、文化、風土についても関心を広げていく。					
授業概要		座学形式で各地の概要を学び、それに基づき各自が調べ学習をする。 調べた成果は発表し、全体で共有していく。プランニングも行う					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	授業の概要と地図の使い方		19	京都・大阪・神戸		
	2	47都道府県と県庁所在地		20	三都プランニング		
	3	地元自慢		21	三都プランニング		
	4	北海道		22	近畿1(奈良・三重・和歌山)		
	5	東北地方6県		23	近畿2(兵庫・滋賀)		
	6	北海道・東北地方研究		24	中国1(広島・岡山)		
	7	北関東(茨城・栃木・群馬)		25	中国2(鳥取・島根・山口)		
	8	南関東(千葉・埼玉・神奈川)		26	四国地方 4県		
	9	東京		27	瀬戸内海の島々		
	10	伊豆・箱根		28	九州1(福岡・長崎・佐賀)		
	11	関東地方プランニング		29	九州2(宮崎・大分・熊本・鹿児島)		
	12	関東地方プランニング		30	沖縄		
	13	中部1(山梨・新潟・)		31	九州・沖縄プランニング		
	14	中部2(長野・岐阜)		32	テーマ別研究		
	15	中部3(福井・石川・富山)		33	テーマ別研究		
	16	中部4(愛知・静岡)		34	テーマ別研究		
	17	中部地方プランニング		35	プレゼンテーション		
	18	確認テスト		36	確認テスト・まとめ		
成績割合		テスト	30%	学習FB方法		前期末・後期末 成績表を配布	
		学習態度・出席率	40%				
		レポート	30%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験後、旅行分野、観光英語等で長い指導歴を持ちます。2002年から観光英検問題作成委員。					

シラバス

科目名		ホスピタリティサービス		担当 者 名		相川 奏恵	
学 科		エアラインサービス科エアラインビジネス・大学コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	必 選		授 業 時 間 数	36時間
授業目的		感じの良いコミュニケーション力と人間力を身につける。ホスピタリティマインドを醸成し、質の高いサービスを提供できる知識とスキルを身につける					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		対人関係において必要なマナーを身につけ、良好な人間関係を築く力を身につける。ホスピタリティマインドを身につけ社会で顧客と喜びを分かち合い、やりがいあるキャリア形成を目指す力を構築する。					
授業概要		自他の理解を深め、望ましい表現力と傾聴力を養い適切なコミュニケーション力を身につける。様々な業界のホスピタリティや顧客心理を研究を通して視野を広げ、やりがいあるキャリア形成を目指す。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	オリエンテーション・マナーの基本		19	物の受け渡し		
	2	人間力とマナー・メラビアン法の法則		20	立ち居振る舞い(案内)		
	3	望ましい社会人(プロフェッショナルの姿)を考える		21	立ち居振る舞い(案内)		
	4	目標について考える 発表		22	TDLのホスピタリティ①		
	5	自分の表情・態度を見つめる		23	TDLのホスピタリティ②		
	6	望ましい話し方(声の出し方・活舌・スピード)		24	思いやりを伝える言葉遣い		
	7	挨拶の言葉を考える(明るい挨拶・爽やかな挨拶)		25	様々な産業のホスピタリティ①		
	8	表情・態度を見直す(動画チェック)		26	様々な産業のホスピタリティ②		
	9	表現力を身につける(気持ちを表現する力)		27	様々な産業のホスピタリティ③		
	10	敬語①		28	様々な産業のホスピタリティ④		
	11	敬語②		29	様々な産業のホスピタリティ⑤		
	12	敬語③		30	利休七則と江戸しぐさ		
	13	敬語でインタビュー 他己紹介		31	自己肯定感を高める		
	14	自己理解①		32	自己管理と自己啓発		
	15	自己理解②		33	パーソナルブランディング①		
	16	他者理解①		34	パーソナルブランディング②		
	17	他者理解②		35	目標管理①振り返りと次のステップ		
	18	自己表現・相互理解		36	目標管理②振り返りと次のステップ		
成績割合		テスト		80%	学習FB方法	個人ワーク・グループワーク発表評価とアドバイス、定期テスト解説	
		学習態度・出席率		20%			
		レポート			成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P《課題解決型学習》50 R《実働実践型学習》20 A《主体的参加型学習》20 G《海外体感型学習》10					
講師プロフィール		エアーニッポン(株)にてキャビンアテンダント及び教育訓練教官業務(新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教育とマニュアル作成)採用面接官を経て、現在は日本講師協会にて電話対応・課題解決・新入社員研修等を実施。実績は環境庁・東京都福祉保健局・八王子市役所・埼玉県産業振興公社・消費生活支援センター・日本旅行・りそな総研・みずほ不動産・SEGA・ファミリーマート・三菱ビルテクノサービス等					

シラバス

科目名		アマデウス実習 I		担 当 者 名		小泉 公仁子	
学 科		エアラインサービス科エアラインビジネス・大学コース		授業方法		実習	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選		授 業 時 間 数	72時間
授業目的		世界中の多くの旅行会社、航空会社で利用されている総合予約システム「アマデウス」操作の習得。航空、旅行業界で実際に活用できる「技能」の習得と共に国際線予約業務に必要な「基礎知識」を身につける。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国際線予約の操作、基礎知識を学び「アマデウス システム検定 (SPECIALIST)」合格を目指す。					
授業概要		「アマデウス」トレーニングモードを使つての実習が中心。テキスト、早見表を使って基本操作の学習後、練習問題によって各自が操作技能、知識を積み上げていく。就職活動を見据え、ニュースなどを取り上げて航空、旅行業界を取り巻く環境に目を向け、実社会とのつながりを意識させる。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	導入 授業の目的・目標 基本操作 基礎知識		19	前期復習 エラーメッセージ キャンセル待ち ステータスコードの流れ		
	2	各種コード検索① 世界地図		20	フライトの変更・キャンセル PNR項目の修正		
	3	各種コード検索② 主要航空会社		21	ダイレクトアクセス アクセスレベル GGエントリー		
	4	日本地図 タイムテーブル コードシェア アライアンス		22	旅客氏名(小児・幼児) 入力・修正 SSRとは		
	5	空席照会(オプション・ショートカット)		23	SSR 各種ミール HELPページ		
	6	フライトスケジュール		24	SSR 連絡先 CTCE CTCM		
	7	空席照会からの予約(ショートセル)		25	SSR フリークエントフライヤープログラム		
	8	ロングセル ステータスコードとは フライトのキャンセル		26	SSR シートリクエスト GGエントリー		
	9	PNRとは 旅客氏名(大人) 入力・修正		27	フライトインフォメーション(直行・経由便)		
	10	連絡先 発券状況 送信元 完了		28	PNR作成練習 基礎知識総復習		
	11	完了 中断 完了後のステータスコード PNRの取出し		29	検定対策①		
	12	PNR作成練習		30	検定対策②		
	13	乗継便の予約・変更 マリードセグメント		31	検定対策③		
	14	ARNK オープンセグメント		32	後期末試験対策		
	15	前期末試験対策		33	後期末試験		
	16	前期末試験		34	期末試験返却・解説 検定対策④		
	17	試験返却 解説		35	総まとめ		
	18	総まとめ		36	総まとめ		
成績割合		テスト		40%	学習FB方法	前期・後期試験実施後。試験返却をもって	
		学習態度・出席率		30%			
		レポート		30%	成績評価		
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫0 A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		(株)日本航空にて予約、発券業務 (株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師					

シラバス

科目名		接遇手話Ⅰ		担 当 者 名		小川 奈緒子	
学 科		エアラインサービス科エアラインビジネス・大学コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	必 選		授 業 時 間 数	36時間
授業目的		①聴覚障がいについて理解する ②手話の基本を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		聴覚障がいの基礎知識を学び、理解する。簡単な自己紹介・会話の習得。NPO法人手話技能検定試験4級合格を目指す。					
授業概要		聴覚障がいの基礎知識・コミュニケーション手段などの座学。簡単な自己紹介・日常会話の実技。聴覚障がいゲスト講師との交流。					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	ガイダンス・導入		19	疑問詞のまとめ(疑問詞を使った文章表現)		
	2	伝える工夫(コミュニケーション方法・挨拶の手話)		20	時制(1日・1週間の生活)		
	3	手話の基本(指文字・挨拶・出来る/出来ない)		21	時制(四季・1年の生活)／都道府県名		
	4	手話の基本(指文字・名前・学校名・好き/嫌い)		22	都道府県名		
	5	手話の基本(数の表現・疑問詞の使い方)		23	聴覚障害と福祉制度／接遇手話の簡単な文の練習		
	6	自己紹介(住所・出身地・県名・国名含む)		24	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)／接遇手話の練習		
	7	自己紹介(人物・家族の表現)		25	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて		
	8	自己紹介(誕生日・数字・時の表現)		26	聴覚障がいの特性を理解する・先週の感想等の共有		
	9	自己紹介(趣味の表現)		27	後期の復習/小テスト		
	10	自己紹介(職業などの表現)		28	後期の復習／手話ソング(Xmasソング)		
	11	前期の復習(自己紹介の総復習・表出の小テスト)		29	時節の手話		
	12	前期の復習(自己紹介の総復習・読み取りの小テスト)		30	1年間の総復習		
	13	前期の復習		31	1年間の総復習		
	14	前期の復習		32	後期末試験(表出試験)		
	15	疑問詞(だれ・なぜ・どちら・いくつ)		33	後期末試験(読み取り／筆記試験)		
	16	前期末試験(表出試験)		34	試験の返却／解説(後期の振り返り)		
	17	前期末試験(読み取り／筆記試験)		35			
	18	試験の返却／解説(前期の振り返り)		36			
成績割合		テスト	50%	学習FB方法	使用教材「豊かなコミュニケーション」(NPO法人東京都中途失聴・難聴者協会発行)		
		学習態度・出席率	40%				
		レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点、A80～89点、B70～79点、 C60～69点、D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫40% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		手話通訳士として講演会・会議・その他日常生活での手話通訳活動や手話指導経験を積んでいる。					

シラバス

科目名		国内地理・歴史Ⅰ		担 当 者 名		金田一 栄子	
学 科		エアラインサービス科エアラインビジネス・大学コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	必 選		授 業 時 間 数	36時間
授業目的		地理的な視点から世の中のことを見ることができるようになる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国内の観光資源について基本的な知識を学ぶとともに、歴史、文化、風土についても関心を広げていく。					
授業概要		座学形式で各地の概要を学び、それに基づき各自が調べ学習をする。 調べた成果は発表し、全体で共有していく。プランニングも行う					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	授業の概要と地図の使い方		19	京都・大阪・神戸		
	2	47都道府県と県庁所在地		20	三都プランニング		
	3	地元自慢		21	三都プランニング		
	4	北海道		22	近畿1(奈良・三重・和歌山)		
	5	東北地方6県		23	近畿2(兵庫・滋賀)		
	6	北海道・東北地方研究		24	中国1(広島・岡山)		
	7	北関東(茨城・栃木・群馬)		25	中国2(鳥取・島根・山口)		
	8	南関東(千葉・埼玉・神奈川)		26	四国地方 4県		
	9	東京		27	瀬戸内海の島々		
	10	伊豆・箱根		28	九州1(福岡・長崎・佐賀)		
	11	関東地方プランニング		29	九州2(宮崎・大分・熊本・鹿児島)		
	12	関東地方プランニング		30	沖縄		
	13	中部1(山梨・新潟・)		31	九州・沖縄プランニング		
	14	中部2(長野・岐阜)		32	テーマ別研究		
	15	中部3(福井・石川・富山)		33	テーマ別研究		
	16	中部4(愛知・静岡)		34	テーマ別研究		
	17	中部地方プランニング		35	プレゼンテーション		
	18	確認テスト		36	確認テスト・まとめ		
成績割合		テスト		30%	学習FB方法	前期末・後期末 成績表を配布	
		学習態度・出席率		40%			
		レポート		30%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験後、旅行分野、観光英語等で長い指導歴を持ちます。2002年から観光英検問題作成委員。					